

言葉の育ちは生まれた時から始まります

月齢のめやす	子どもの様子	言葉を育てるためのかかわり方
0か月	<ul style="list-style-type: none"> • 周りの声は聞こえている • 人の顔に反応し、見つめるようになる • 気持ちが良いと、自然に声を出す 	<ul style="list-style-type: none"> • 赤ちゃんの反応を見て「おなかすいたね」「お尻さっぱりしたね」等、声をかけながら授乳やおむつ替えをしましょう
4か月	<ul style="list-style-type: none"> • 声がする方を向く • 声を出して自ら笑いかける • 唇と舌の動かし方によって違う音が出せるようになっていく 	<ul style="list-style-type: none"> • 赤ちゃんが興味を持って見つめているものをゆっくり、短く、言葉にしてあげましょう
7か月	<ul style="list-style-type: none"> • 「バババ…」 「ンマンマン…」 等、つながった声を出す • 予測して期待できるようになる • 泣き方で感情や欲求を示す 	<ul style="list-style-type: none"> • 繰り返しの音遊びをしましょう 「とんとんとんとんひげじいさん」 等、 • 「いない、いない、ばあ～」遊びをしましょう • 口の動きを見やすい位置で「ベロベロバー」 等、声をかけましょう
10か月	<ul style="list-style-type: none"> • 名前を呼ばれると振り向くようになる • 言葉に意味があることがわかり始め、要求を手差しや声で訴える 	<ul style="list-style-type: none"> • お名前呼び遊び（名前を呼んで「は～い」と手をあげる） • 赤ちゃんが注意を向けたもの（顔を向ける、手を伸ばす等）や気持ちを言葉にしてあげましょう 「お茶欲しいのね」「ワンワン来たね」「びっくりしたね」 等
12か月	<ul style="list-style-type: none"> • 言葉は、ふだん子どもが目にして聞く言葉から覚えていきます。 • パパ、ママなど、言葉が出始める 「パバババ…」 → 「パパ」 「ママママ…」 → 「ママ」 	<ul style="list-style-type: none"> • 「ちょうだい」「どーぞ」等のやりとり遊びに繰り返しつきあってあげましょう • 「ボール・コロコロ・ポーン♪」「お顔を出して♪お手を出して♪」「うさぎぴょんぴょん♪」 等、リズムを付け声掛けしましょう
1歳6か月	<p>見た物とお母さんがその時に発した言葉を聞くことの繰り返して、物と名前が一致して、物の名前を理解していきます。そして、発音をまねて、言葉を話すようになる。「わんわ」「ブーブー」単語が増える</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもが触ったものや見たものを「〇〇だね」と話しかけましょう。 • 何かを伝えたいという気持ちと、伝えたい人の存在が言葉を育てます。伝えたいと思うような好きなことや楽しいことを、たくさん体験させてあげましょう。
2歳	<ul style="list-style-type: none"> • 二語文が少しずつ出てくる • 言葉で自分の要求を表現しはじめる • 「あれ、なに？」「どうして？」の質問が多くなる 	<ul style="list-style-type: none"> • 言葉によるコミュニケーションをしましょう • 子どもにとっては、まわりのことすべてが「不思議」で「知りたい」対象です。理由を知りたがる時期なので「なんで？」と聞かれたら、面倒がらずに子どもがわかるように教えてあげましょう。
3歳	<ul style="list-style-type: none"> • 発音がしっかりしてくる • 自分の考えを言葉で表現できるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもが話すペースでゆっくりしっかり聞いてあげましょう。 先回りして答えたり、せかしたりせずに自分の気持ちや考えを言葉で伝えられるように促してあげましょう。

特別に教える機会を作らなくても、こうした日々の関わりの中で、
赤ちゃんの言葉は育っていきます